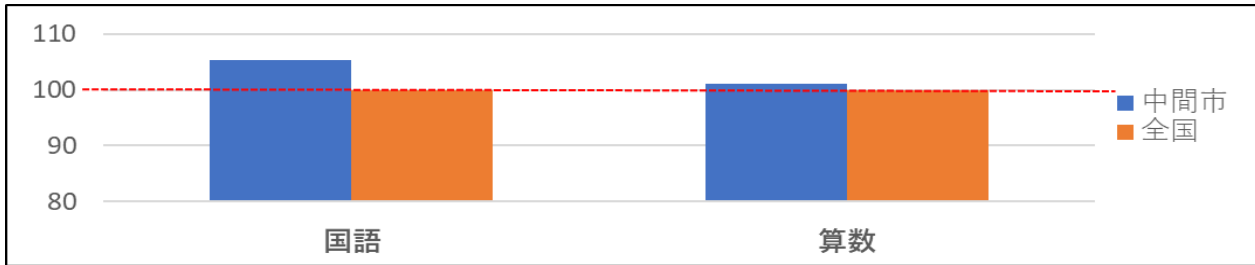


## 1 小学6年生の状況

### ① 各教科区分の結果（全国の正答数を100とした標準化得点で比較）



### ② 調査結果について

小学6年生の平均正答率は、国語、算数ともに全国平均を上回りました。国語では、「読むこと」「話すこと・聞くこと」の内容で、算数では、「データの活用」の領域で全国平均を上回るなど成果が見られました。一方、国語では、情報の扱い方に関する知識技能の内容で、算数では「変化と関係」の領域に課題が見られました。

なお、今年度、正答率(全国との比較)等から成果と課題が見られた問題は以下のとおりです。

#### 【国語】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題(正答率68.6%【全国56.2%】)
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる問題(正答率79.4%【全国70.2%】)
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う問題(正答率57.1%【全国62.0%】)

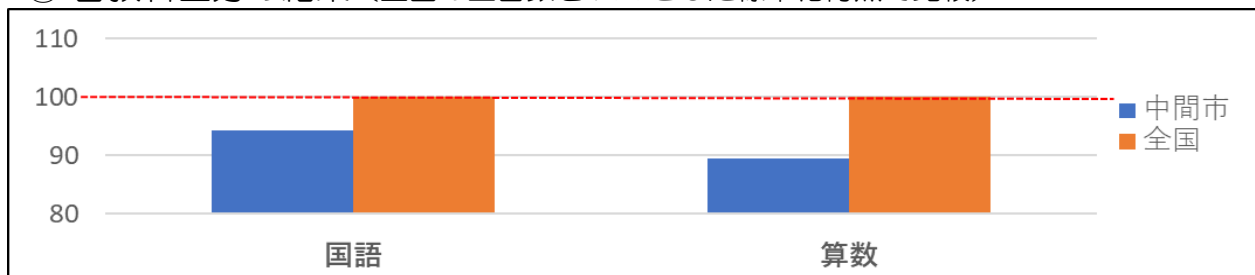
#### 【算数】

- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する問題(正答率63.2%【全国56.2%】)
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取る問題(正答率69.4%【全国64.6%】)
- 百分率で表された割合について理解する問題(正答率37.5%【全国46.0%】)

〔○成果、●課題〕

## 2 中学3年生の状況

### ① 各教科区分の結果（全国の正答数を100とした標準化得点で比較）



### ② 調査結果について

中学3年生の平均正答率は、国語、数学ともに全国平均に及びませんでした。しかし、国語は、昨年度(中学2年生時)に比べると正答率が大きく向上しています。

国語では、言語文化に関する知識技能の内容で、数学では、「数と式」「データの活用」の領域で全国平均を上回るなど成果が見られました。

一方、国語では、情報の扱い方に関する知識技能や「書くこと」の内容、数学では「図形」の領域に課題が見られました。

なお、今年度、正答率(全国との比較)等から成果と課題が見られた問題は以下のとおりです。

#### 【国語】

- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む問題(正答率87.2%【全国82.5%】)
- 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする問題(正答率69.6%【全国67.5%】)
- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解する問題(正答率50.9%【全国61.8%】)

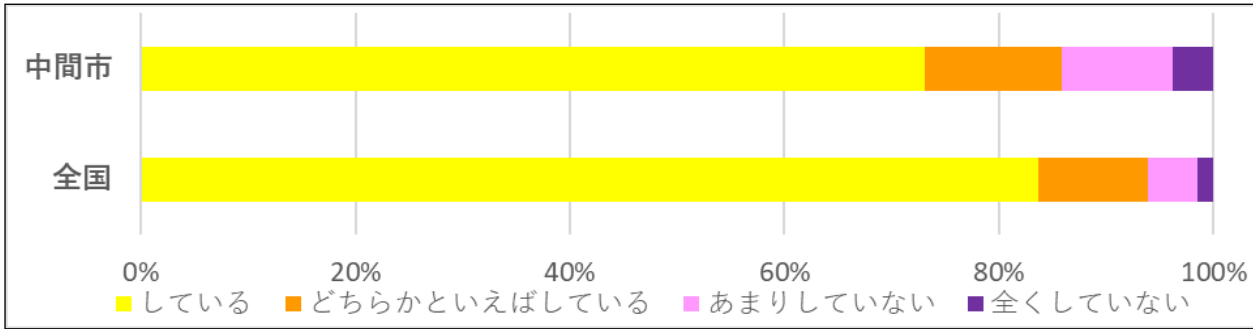
#### 【数学】

- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する問題(正答率64.4%【全国58.8%】)
- 四分位範囲の意味を理解する問題(正答率70.6%【全国65.7%】)
- ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する問題(正答率18.3%【全国32.1%】)

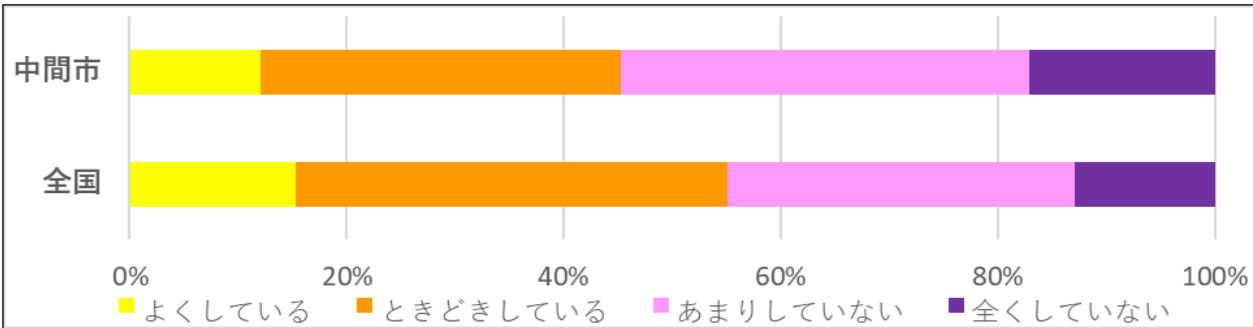
〔○成果、●課題〕

### 3 質問紙調査から見える課題と対策

#### ◆ 朝食を毎日食べていますか【小学校6年生】

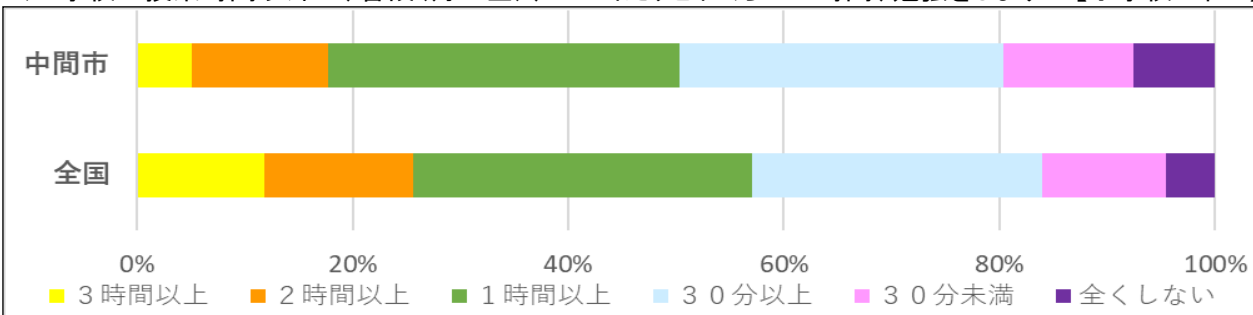


#### ◆ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか【中学校3年生】

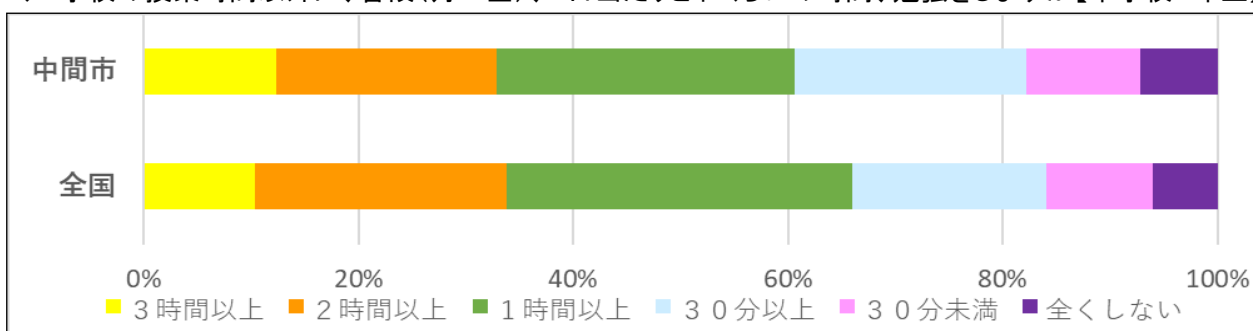


【小学校6年生】は、朝食を毎日食べている児童の割合が全国と比べて若干少なく、【中学校3年生】は、自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合が全国と比べて若干少なくなっています。

#### ◆ 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか【小学校6年生】



#### ◆ 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか【中学校3年生】



家庭での勉強時間を見ると、【小学校6年生】【中学校3年生】ともに、1時間より多いという回答の割合が全国より少なくなっています。

規則正しい生活は、心身の健全な成長には欠かせません。起床・就寝時刻、食事時間、ゲーム等をする時間を決めるようにしましょう。

家庭学習は、宿題・課題だけでなく、予習や復習、テストや試験に向けた学習など、自分で計画して取り組むことが大切です。学習する時間や場所を決めたり、環境を整えたりするなどして、学習習慣を身につけられるよう、家庭でも話し合ってみましょう。

## 4 今後の取組

### A 「授業改善の推進」

- ・ 義務教育9年間の学びの連続性、小中連携を大切に児童生徒の学力向上のための授業改善の推進
- ・ 指導主事の学校訪問による「授業づくり」の取組の浸透徹底
- ・ 確かな学力の育成、情報活用能力の育成に資するICT利活用の推進
- ・ 文部科学省及び福岡県発刊の調査問題分析資料等を活用した授業改善の推進

### B 「良好な学級集団づくりの推進」

- ・ hyper-QUを活用した学力向上の基盤となる学級集団づくり、人間関係づくりの推進と学ぶ意欲の醸成
- ・ 「思いやり」「より良い集団生活の充実」などの内容項目に重点を置いた豊かな心を育む道徳教育の充実
- ・ 特別活動や学校行事を充実させ、自己実現を図るためのキャリア教育の推進

### C 「家庭学習充実のための支援」

- ・ 中間市家庭学習ノート「ドリカムノート」を活用した家庭学習の習慣化と充実
- ・ 小中連携した家庭学習強化週間等の取組の推進
- ・ ICT利活用による家庭学習充実の支援

### D 「各種教員研修会等の充実と支援」

- ・ 本市主催研修の内容の充実
- ・ 児童生徒の学力向上を図るための校内研修等への支援の充実
- ・ 福岡県及び関係機関主催研修の積極的活用の推奨
- ・ 中間市教育振興会等との連携による教科指導の質の向上のための支援
- ・ 県内外の教育機関との連携の強化

### E 「教育環境の整備と拡充」

- ・ きめ細かな学習指導を目指した「少人数指導」や「習熟度別指導」のための教員配置
- ・ 適切な栄養摂取、望ましい食習慣の涵養等を目指した学校給食の実施と、栄養教諭・学校栄養職員と担任が連携した食育の推進

上記A～Eの取組を中心に、児童生徒にとって効果のある取組を積極的に実施してまいります。

小学校、中学校ともに今求められる学力が身に付くように「凡事徹底」をスローガンに、学習指導や授業改善に丁寧に取り組んでまいります。

今後も、本市学校教育へのご理解、ご協力をお願いいたします。

今求められる学力が身に付くように  
「凡事徹底」

